

指標の意義

- 手術部位感染(SSI)を予防する対策の一つとして、手術前後の抗菌薬投与があり、手術執刀開始の1時間以内に適切な抗菌薬を静注することでSSIを予防し、入院期間などの延長を押さえることができる。
- CDCガイドラインに沿った感染予防の徹底。
- 大きく値のはずれた病院では、投与のタイミングや、投与期間、抗生素種類なども検討課題として上がってくる。

指標の計算式、分母・分子の解釈

・収集期間：1～3月、4～6月、7～9月、10～12月
 ・調整方法：診療科により、あるいは医師により投与方法が異なるなどの場合も想定し、3ヶ月毎に各診療科10症例以上となるよう調査期間を設定すること

各指標の計算式と分母・分子の項目名		分母・分子の解釈
分子	執刀前1時間以内に予防的抗生素を投与した数	
分母	クラス2以下入院手術数(CDCによる清潔度が清潔および準清潔手術)	

考察

【2012年 年間数値報告】

最小値27.27% 25%値74.71% 中央値96.20% 75%値100% 最大値100%

回答病院：55病院

【考察・分析】

予防的抗生素投与の目的はSSI(手術部位感染)の発生頻度を低下させることにあります。ガイドラインに沿った手術医療が行われているかが分かり、医療の質をよくあらわしているプロセス指標となります。

2011年と比べると、最小値25.00%→27.27%、中央値92.54%→96.20%、最大値100%→100%、と投与割合は全体的に上昇しました。

投与割合が90%を超えている病院は36病院(65.5%)あり、CDCガイドラインに沿って整備されていると考えられます。また昨年から引き続き参加している43病院で、30病院(69.8%)が2011年と比べ2012年の投与割合が上がっていました。一方、投与割合が

50%を切る病院が3病院(5.5%)あり、その要因を検討する必要があります。

民医連の指標は分子を「執刀前1時間以内に予防的抗生素を投与した数」と定義していますが、たとえば日本整形外科学会『大腿骨頸部／転子部骨折診療ガイドライン』では「投与時期は術前1～2時間前が適切」とあり、また、ある大学病院の「適正抗菌薬使用ガイドライン」には「皮切前30分前から投与」とあるなど病院や各科のマニュアルによって微妙な違いがあります。各病院で術後感染予防の考え方、適正な抗菌薬の選択も含めて検討し改善することが必要です。

改善事例

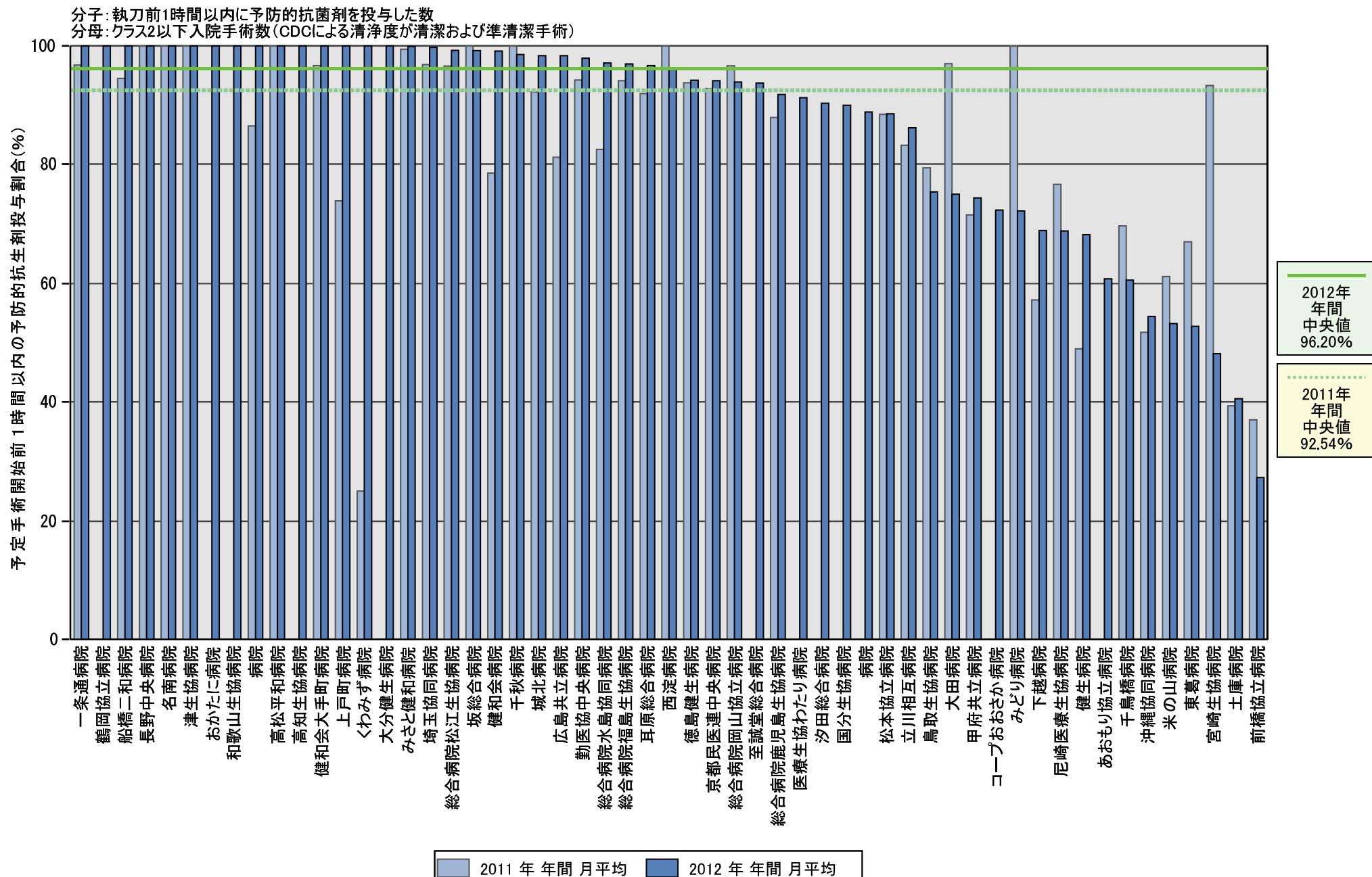
- 手術室の業務基準を変更。
- 手術室での執刀前患者の抗生素投与に関して確認作業を継続しほぼ100%の実施率を維持している。

- 実際には予防的抗生素投与は行われているが、電子カルテの入力項目が空白である事がある事が分かった。手術室にこれをフィードバックする事で今後変わっていくことが期待できる。

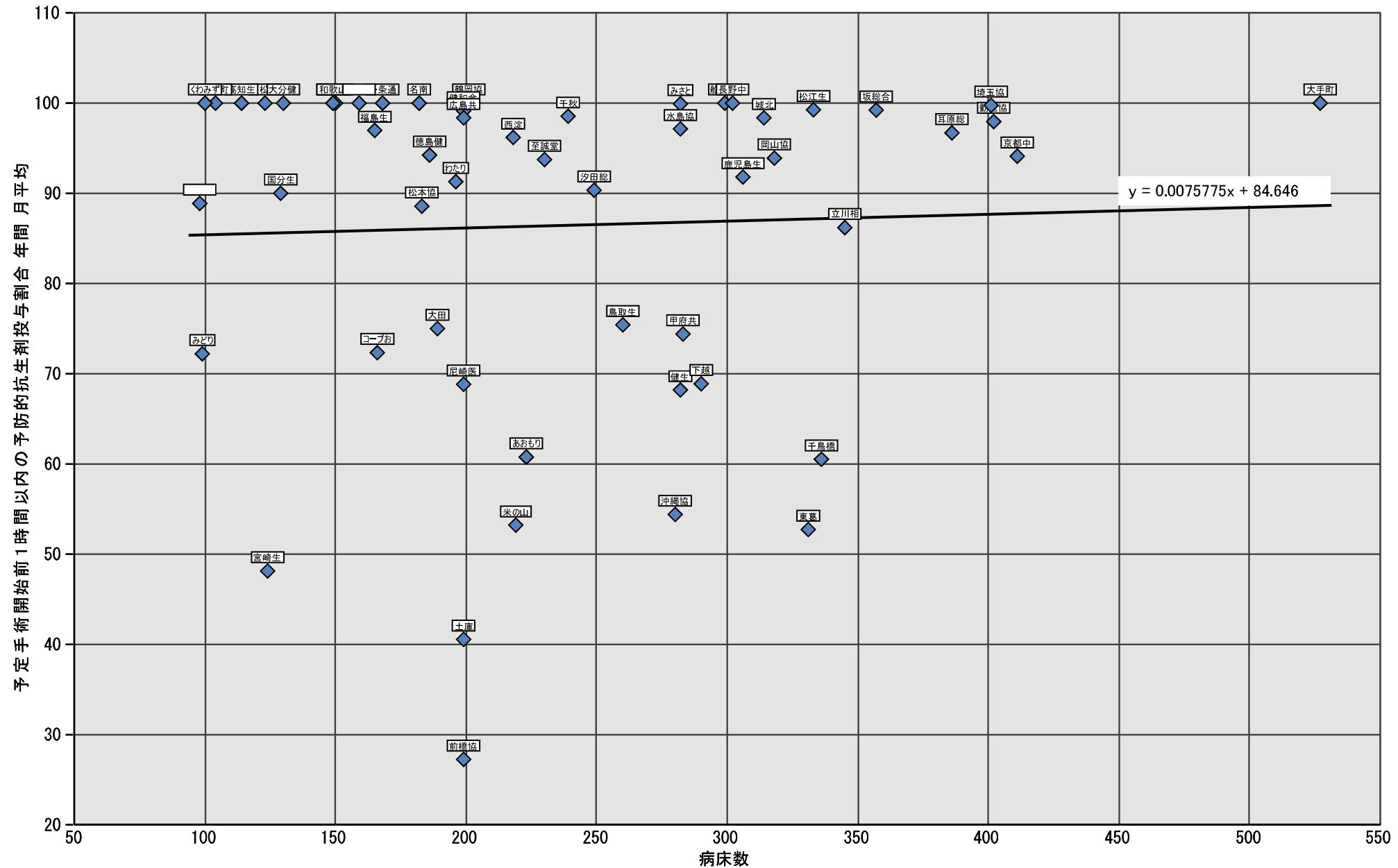
指標⑬	執刀前1時間以内に予防的抗生素を投与した数		クラス2以下入院手術数 (CDCによる清潔度が清潔および準清潔手術)		予定手術開始前1時間以内の予防的抗生素投与割合	
	2011年	2012年	2011年	2012年	2011年	2012年
勤医協中央病院	402	418	426	427	94.25	97.95
一条通病院	15	12	16	12	96.77	100.00
函館稟北病院	—	—	—	—	—	—
健生病院	78	125	159	183	48.98	68.21
あおもり協立病院	—	8	—	13	—	60.78
坂総合病院	159	159	159	160	100.00	99.22
長町病院	0	—	0	—	—	—
泉病院	—	—	—	—	—	—
鶴岡協立病院	—	71	—	71	—	100.00
至誠堂総合病院	0	15	0	16	—	93.75
医療生協わたり病院	—	16	—	17	—	91.30
前橋協立病院	14	14	39	52	37.01	27.27
埼玉協同病院	131	104	135	105	96.85	99.76
埼玉西協同病院	—	—	—	—	—	—
熊谷生協病院	—	—	—	0	—	—
秩父生協病院	—	—	—	—	—	—
船橋二和病院	117	127	124	127	94.55	100.00
みさと健和病院	464	350	467	350	99.46	99.93
小豆沢病院	—	—	—	—	—	—
大田病院	33	21	34	28	97.01	75.00
東葛病院	162	142	242	269	67.01	52.74
立川相互病院	214	197	257	229	83.28	86.21
王子生協病院	—	—	—	—	—	—
汐田総合病院	—	138	—	153	—	90.36
下越病院	33	39	57	56	57.21	68.89
城北病院	57	75	61	77	92.24	98.37
甲府共立病院	148	159	207	213	71.55	74.41
巨摩共立病院	0	—	0	—	—	—
長野中央病院	141	133	141	133	100.00	100.00
健和会病院	36	29	46	30	78.57	99.15
諫訪共立病院	0	—	0	—	—	—
松本協立病院	71	72	81	81	88.51	88.58
上伊那生協病院	—	—	—	—	—	—
みどり病院	2	3	2	5	100.00	72.22
協立総合病院	147	—	150	—	97.67	—
北病院	—	—	—	—	—	—
名南病院	42	41	42	41	100.00	100.00
千秋病院	47	51	47	52	100.00	98.55
津生協病院	7	7	7	7	100.00	100.00
京都民医連中央病院	182	277	196	294	92.84	94.13

指標⑬	執刀前1時間以内に予防的抗生素を投与した数		クラス2以下入院手術数 (CDCによる清潔度が清潔および準清潔手術)		予定手術開始前1時間以内の予防的抗生素投与割合	
	件	件	件	件	%	%
東大阪生協病院	—	—	—	—	—	—
西淀病院	18	19	18	20	100.00	96.20
耳原総合病院	138	242	150	251	91.97	96.71
コープおおさか病院	—	34	—	47	—	72.34
尼崎医療生協病院	102	95	133	138	76.69	68.84
おかたに病院	—	9	—	9	—	100.00
土庫病院	36	29	90	70	39.34	40.57
和歌山生協病院	—	21	—	21	—	100.00
鳥取生協病院	31	34	39	45	79.49	75.42
総合病院松江生協病院	93	134	96	135	96.61	99.26
総合病院水島協同病院	85	110	103	114	82.57	97.14
総合病院岡山協立病院	51	50	52	53	96.65	93.90
総合病院福島生協病院	76	48	81	50	94.14	96.98
広島共立病院	39	45	48	46	81.25	98.37
徳島健生病院	30	12	32	13	93.81	94.23
高松平和病院	31	30	31	30	100.00	100.00
高知生協病院	—	28	—	28	—	100.00
健和会大手町病院	178	287	213	287	96.71	100.00
千鳥橋病院	111	104	159	171	69.67	60.53
米の山病院	16	8	26	16	61.17	53.23
みさき病院	—	—	—	—	—	—
上戸町病院	9	9	12	9	73.91	100.00
くわみず病院	1	1	4	1	25.00	100.00
大分健生病院	—	4	—	4	—	100.00
宮崎生協病院	7	3	8	7	93.33	48.15
総合病院鹿児島生協病院	212	208	241	226	87.95	91.82
国分生協病院	—	14	—	15	—	90.00
沖縄協同病院	192	222	370	409	51.76	54.41
—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—
—	4	—	5	—	88.89	—
—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—
39	41	45	41	86.52	100.00	
最小値					25.00	27.27
25%値					76.00	74.71
中央値					92.54	96.20
75%値					96.89	100.00
最大値					100.00	100.00
	件	件	件	件	%	%

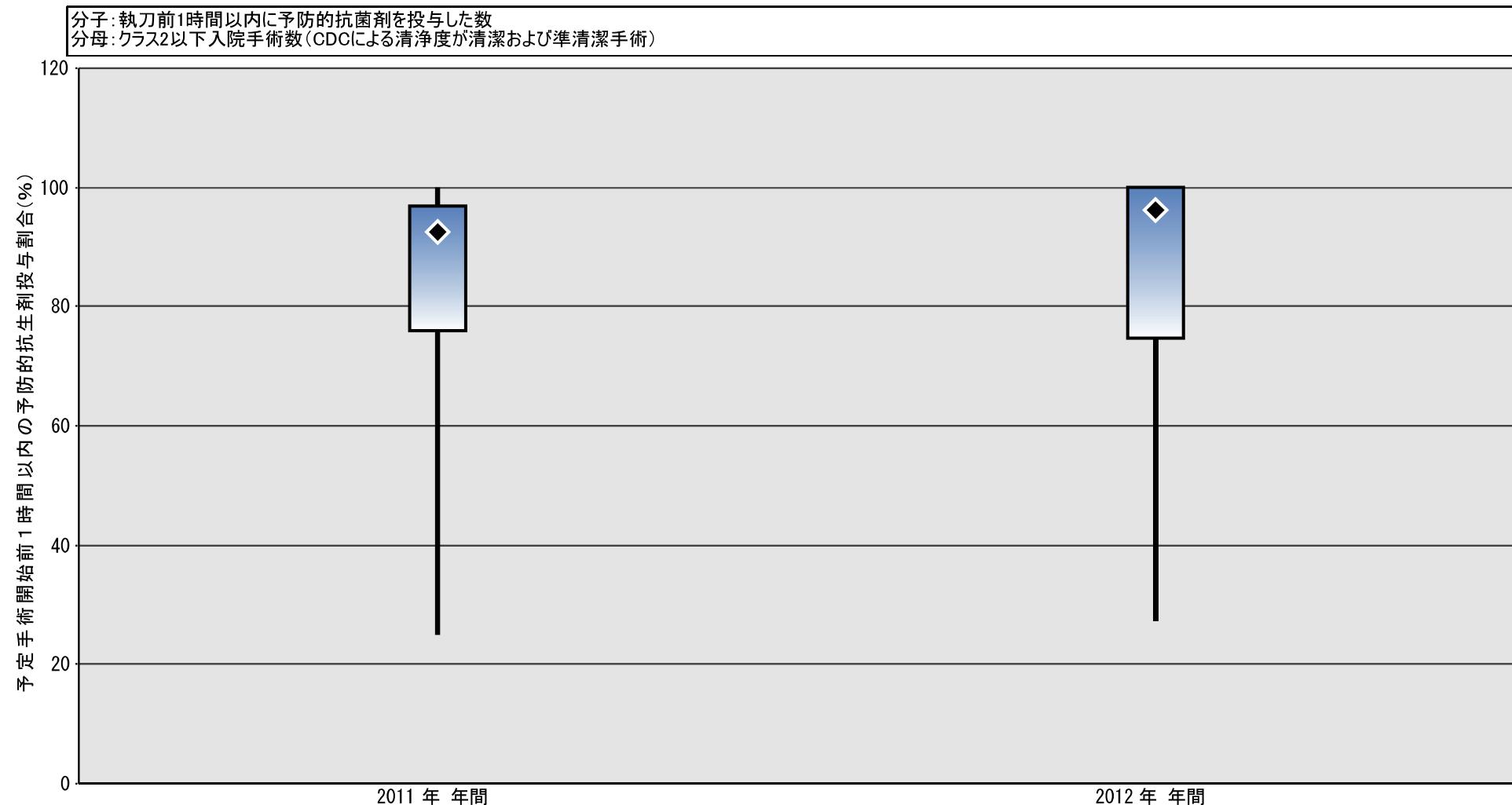
指標13：予定手術開始前1時間以内の予防的抗生素投与割合



指標13：予定手術開始前1時間以内の予防的抗生素投与割合



指標13：予定手術開始前1時間以内の予防的抗生素投与割合



予定手術開始前1時間以内の予防的抗生素投与割合		
最小値	25.00	27.27
25%値	76.00	74.71
◆ 中央値	92.54	96.20
75%値	96.89	100.00
最大値	100.00	100.00
● 自病院	(なし)	(なし)